

## 「栗駒山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」 設立趣意書(案)

栗駒山は、岩手県・宮城県・秋田県を跨ぐ活火山であり、有史以降多くの噴火記録があります。最新の噴火は1944(昭和19)年に昭和湖付近で水蒸気噴火が発生しました。

現在、栗駒山の周辺は火山特有の美しい景勝地やスキー場、温泉を目的に訪れる観光客が多く、観光は地域の重要な産業となっています。

山麓には岩手県に一関市、秋田県に湯沢市、宮城県に栗原市が広がり、新幹線、国道342号や国道398号などの重要交通網が通っているため、大規模な噴火に至った場合には、これら保全対象に大きな被害を与えることが予想されます。

そこで、安全で安心な地域づくりに向け、いつどこで発生するのか予測が難しい火山噴火に伴い発生が想定される、溶岩流、火山泥流、土石流等の土砂災害による被害をできる限り軽減(減災)するための緊急的なハード対策とソフト対策からなる「火山噴火緊急減災対策砂防計画」を策定することとしました。

この計画は、国の国土強靱化年次計画の指標に基づき令和4年度までに栗駒山をはじめ全国49火山において、国や都道府県の砂防部局において策定することになっています。

火山噴火緊急減災対策砂防計画の検討にあたり、栗駒山の過去の噴火実績及び被害想定から被害拡大を考慮すべきであること及び火山防災および砂防に関する高度な学術的知見と行政的知見が不可欠であることから、学識経験者ならびに行政担当者から構成される「栗駒山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」を設置します。

令和3年8月10日